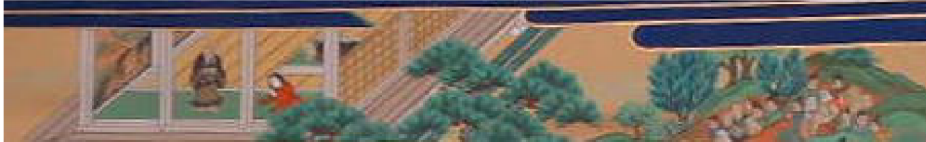


御絵伝 (その3)

報恩講の時、内陣の余間に飾られる親鸞聖人の御生涯を描いた御絵伝は、御伝抄の内容を描いたものです。縦長の画幅のなかに、下から上へ順番に親鸞聖人のご生涯を見ることが出来ます。

第一軸・第五図 「蓮位夢想」



京都五条西洞院の草庵で、下間（しもつま）の蓮位房が不思議な夢夢想を感じている情景を描いたものです。

第二軸・第一図 「選択付属」



吉水の禅房の情景です。向かって右半分は親鸞聖人が、法然上人から『選択本願念仏集』を授けられているところが描かれ、左半分は吉水の禅房で、元久2年7月29日、法然上人がご真影に讃銘され、それを親鸞聖人に授けているところが描かれています。



門信徒総代の宮川総代



仏教婦人会の下川会長

ます。
『赤ちゃんによつて与えられた尊い仏縁』に感謝したいと思ひます。



住職シター

五月二十五日(日曜日)、善教寺本堂にて初参式を勤めました。「初参式」とはお子さまの誕生後、初めて仏さまの前で手を合わせ、お祝いする大切な儀式です。
小さなお子さまと共に親御さまも仏さまに手を合わせ、生まれたことの意味を確かめて頂く儀式。親として生きる出発点であり、赤ちゃんによつて与えられた尊い仏縁であります。
お経に続いて、ご門主さまからのお手紙である初参式についての消息を拝読し、仏教婦人会の下川会長に挨拶、門信徒総代の宮川総代から祝辞を頂きました。記念品として、子供用のお念珠を贈りましたが、成長された時、思い出してもらえかな？